

最新情報

5人の火山マイスターが誕生しました！

10月1日(日)に、第10回目となる洞爺湖有珠火山マイスター認定審査が行われました。火山マイスターは、洞爺湖有珠山地域独自の認定制度です。試験は、模擬学習会の講師役として、当日くじ引きで割り当てられた地点を案内する「フィールド審査」と、認定後にどのような活動を行いたいかなど、火山マイスターとしての資質や考えを聞きとる「面接審査」が行われました。その結果、下記5名の方が合格され、火山マイスターの認定者は48名になりました。

- ・今野 浩吉 さん (洞爺湖町)
- ・長友 加也 さん (壮 警 町)
- ・山本 耕三 さん (洞爺湖町)
- ・宮本 好 さん (洞爺湖町)
- ・藤岡 綾 さん (洞爺湖町)



コラム

火山マイスターの役割 「減災教育」と「火山を楽しむ達人」

災害への対策を表す言葉に“防災”と“減災”^{げんさい}があります。「災害を防ぐ」と書く“防災”に対して、「災害から被害を減らす」という意味の“減災”という言葉が、最近は多く使われるようになってきています。これは、火山噴火など人の力で防ぐことが難しい自然現象に対して、被害を減らす行動が大切という考え方で、その知恵を学ぶための教育を「減災教育」と言います。人が暮らすところで起こると「災害」と呼ばれてしまっていますが、本来、火山の噴火自体は悪者ではありません。自然現象としての火山を、楽しみながらよく理解し、噴火時にはきちんと行動(避難)できる地域づくりのために活動する住民が、洞爺湖有珠火山マイスターです。



火山マイスターは、「減災教育」と「火山(ジオパーク)の楽しみ方」を伝える、住民リーダーとして活動しています。火山は普段、私たちに多くの恵みを与えてくれます。洞爺湖や有珠山の周辺の観光地は、その多くが火山が作り出した景色を楽しむ場所です。温泉もマグマの影響を受けた地下水を使ったものです。この地域で採れる多くの農産物や海産物も、火山と関係した物語をたくさん持っています。これらの「火山がもたらした恵み」の楽しみ方を、多くの人に伝えてゆく「洞爺湖有珠山ジオパークの“達人”としての役割も、火山マイスターは担っています。

ジオパークとは、大地の成立ちと、自然、人間とのつながりを楽しく学ぶことができる地域のこと。
国内には「ユネスコ世界ジオパーク(国際認定)」が8地域、「日本ジオパーク(国内認定)」が43地域あります。